

特別講演





澤村 健一（イーセップ株式会社 代表取締役）

早稲田大学（応用化学専攻）にて分離膜技術に関する博士号（工学）取得後、大学助手を経て、日立造船株式会社（現カナデビア株式会社）に入社。その後自身の専門技術であるナノ多孔性セラミック分離膜技術の社会実装を目指し、2013年にイーセップ株式会社を設立、代表取締役就任。

出展予定企業概要

| 企業名 | 概要 |
|---|--|
| イーセップ株式会社  | 日立造船(株)にいた澤村氏が、アントレプレナーシップやシリコンバレー派遣プログラムを経験したのち 2013 年にイーセップ株式会社を設立。けいはんなベンチャーセンターにて創業ののち、2015 年には、京都市ベンチャー企業目利き委員会により A ランク認定、大分県国東市に工場設立、第三者割り当て増資等を行うなど活動を拡大中。 |
| 英興株式会社  | 1947 年に京都において石英ガラスの販売で創業。複数のガラスメーカーと代理店契約を結び販売を行うなか、1990 年に宇治に自社生産拠点を設置し、主に特注品の石英ガラスの製造加工を行う。その他、工業炉やヒーターなどの生産設備の設計も手掛ける。ユーザー企業の研究開発にも深く関与する形で独自の営業展開を行っている。 |
| OPI 株式会社  | 明治 28 年創業の印刷インキ及び関連する化学製品の製造販売を行っているメーカー。規模は小さいながら総合インキメーカーとして各印刷方式に適した製品群を研究開発しており、ニッチな要求に応えるものづくりで、お客様の課題解決に貢献する。製造拠点は柏原(大阪府)と伊賀(三重県)で水系、溶剤系、UV 系原料の取り扱いが可能。 |
| 互応化学工業株式会社  | 1953 年に化学薬品等の製造販売を目的に設立。ワックスエマルジョン、アクリル樹脂、ポリエステル樹脂等の研究開発・事業化を進め、時代のニーズに合わせて 1970 年代より電子産業用の薬剤の販売を進め、平成に入り福井県、滋賀県に生産工場を建設する一方、インドネシアに合弁会社（現在、連結子会社）を設立するなど事業拡大を図ってきた。 2001 年に株式を公開し、現在は東京証券取引所第二部上場。 |
| 新日本理化学株式会社  | 1919 年の創業まもなくから、当時の余剰魚油を水素化して硬化油・石鹸の製造、1930 年代には高圧水素化による高級アルコールの製造など、今の事業ドメインに結びついている。大阪に本社を置き、京都に研究開発の中核を担う研究所を有する。国内の生産拠点としては、京都、徳島、川崎、堺に工場がある。国内外に製造販売を行うグループ会社が存在する。東京証券取引所一部上場。 |
| 第一工業製薬株式会社  | 1909 年に絹糸を洗浄する界面活性剤を扱ったのが始まりで、現在では応用分野を広げ、5 つのコア事業に拡大し、ユーザー企業も多岐にわたる。ユニークな工業用薬剤を取り扱う複数のグループ会社のほか、世界でもアジアを中心に生産拠点を複数有している。2015 年から新 5 ヶ年経営計画を始動し、生産、研究、営業の複合基地となる四日市のマザー工場設置などの再編やアジア新興国での販売強化などを進めている。 |
| 株式会社 DFC  | 2014 年創業。代表取締役の松本氏が、自身の開発経験を活かし化学者の「あったらいいな」と思えるような装置の開発を第一に考え、フローケミストリーに特化した製品を生み出している。2016 年には京都市ベンチャー企業目利き委員会 A ランク認定。その他、多くの補助事業を活用し、新商品開発につなげてきた。 今後は、研究の自動化に役立つ装置開発に経営資源を投入し、開発を加速させる。 |
| 日東精工株式会社  | 誠実を基とし、内外に信用を獲得して社会の発展に寄与する。1938 年の創業以来、当社はこの基本方針に基づき事業展開を進めている。創業時の時計およびカメラ部品の製造で培われた精密加工技術は、工業用ファスナー（ねじ）、ねじ締め機、流量計、メディカル関連などの事業製品に継承されている。 |

| 企業名 | 概要 |
|---|---|
| <p data-bbox="183 168 408 197">プラスコート株式会社</p>  | <p data-bbox="491 163 1473 253">EMC 対策向けの電磁波シールドコーティング（導電塗装）をコア技術とし、複雑化する電磁環境の中で特に医療機器や分析機器、測定機器や船舶関連機器、業務用電化製品などの分野で、機器同士の電磁干渉による誤動作の予防や、安全性確保のための取り組みをしている。</p> <p data-bbox="491 259 1473 318">また、導電性技術の応用製品や、その他の機能性材料の研究・開発、お客様専用のカスタマイズ製品の開発なども行い、便利で安全な社会づくりをサポートしている。</p> |
| <p data-bbox="183 329 408 358">株式会社プロボックス</p>  | <p data-bbox="491 367 1473 456">医療機器部品や分析機器のノズル等の提案から始まり、現在ではそれらの経験を活かしより安定した品質でものづくりを行うため、社内で特殊金属パイプの造管、金属パイプの内径研磨から医療機器部品、分析機器のノズル等の設計からアSEMBリまで一括して社内で製造している。</p> |